

教科書の単元と世界農業遺産副読本との関連(案)

(副読本資料第1号)

教科	主な単元	大崎耕土での具体例
社会3年	1 わたしたちのまち みんなのまち 「市のようす」	【世界が認めた世界農業遺産「大崎耕土」とは】 ○大崎耕土の様子 ・江合川・鳴瀬川と流域の土地利用 ※校区内の土地利用の特徴など ○水田や水路、ため池、屋敷林「居久根」がつなぐ豊かな景観 (ランドスケープ)
	2 はたらく人とわたしたちの暮らし 「農家の仕事」	【大崎耕土の農家の仕事】 ○米づくりの1年
	3 かわってきた人々の暮らし 「古い道具と昔の暮らし」 「のこしたいもの、つたえたいもの」	【農業と結びついた食文化や農文化】 ○米づくりの古い道具と農家住居 ○八百屋市、互市 ○農耕儀礼(予祝儀礼・民俗芸能) ○郷土食(もち食文化・発酵食文化) ■概要のみ(読み物として) ・契約講 ・水田漁撈 ・湯治
社会4年	6 郷土の発展に尽くす 「谷に囲まれた大地に水を引く」	【先人達が築いた水管理のシステム】 ○水のつながりを支えた人と知恵 ・伊達政宗公(内川、新田開発) ・鎌田三之助:品井沼干拓 ・遊佐平左衛門:南原穴堰 ・大越喜右衛門:荒川堰用水路、品井沼干拓 ○大崎耕土の巧みな水管理 ・山間地における用水確保とぬるめ (南原穴堰、ぬるめ田、ぬるめ水路) ・低平地における遊水地利用(蕪栗沼、品井沼、名鱒沼) ■概要のみ(読み物として) ・緩傾斜地(番水) ・湿地帯における隧道・潜穴(萱刈潜穴、蕪栗沼) ・扇状地における堰、ため池(反復水路、原堰、蟬堰) ・丘陵地における潜穴配水網(荒川堰)
社会5年	1 わたしたちの国土 「低いところの暮らし」 「高いところの暮らし」 「あたたかい土地の暮らし」 「寒い土地の暮らし」	【屋敷林「居久根」による豊かな景観】 ○大崎耕土に暮らす(冷害・洪水・渇水・季節風など) ○防風林としての機能と食料の確保 ■概要のみ(読み物として) ・モザイク的土地利用
	2 わたしたちの生活と食料生産 「米づくりのさかんな地域」 「これからの食料生産とわたしたち」	【食料の生産地としての重要性】 ○「やませ」と大崎耕土の米づくり ○ササニシキ・ひとめぼれの誕生に向けた 品種改良の歴史 ○これからの食料生産とわたしたち(後継者不足など 農村の課題) ○江戸廻米
	5 わたしたちの生活と環境 「環境を守るわたしたち」	【自然との共生を目指す大崎耕土の農業】 ○環境保全米づくり ○渡り鳥との共生 ○農村環境を守る取り組み(農村の多面的機能保全)

教科	主な単元	大崎耕土での具体例
理科3年	春のしぜんにとび出そう	【水田や水路、屋敷林「居久根」がつなぐ大崎耕土①】 ○身近な自然「田んぼ」の生きものを探す
	こん虫を調べよう	
理科4年	生き物の1年を振り返って	【水田や水路、屋敷林「居久根」がつなぐ大崎耕土②】 ○大崎耕土の四季(屋敷林「居久根」の植物と 生き物の暮らしなど)
理科6年	生き物の暮らしと環境	【多くの生き物を育む水田】 ○ラムサール条約と大崎耕土の営み ○田んぼの生きものと米づくりの関わり 水稲栽培における害虫と土着天敵
	地球に生きる	【大崎の宝を未来に残すために】 ○世界とつながる大崎耕土 ○大崎耕土の価値を共有する ○里地・里山ボランティア(化女沼) ○ふゆみずたんぼ ○シナイモツゴ郷の会(外来種駆除作業)

※それぞれの学年で、複合的に扱うことで「総合的な学習の時間」での活用・取り組みも考えられる。